

遊佐町共同開発米の米日記



代掻き(1回目)



土引き



代掻き(2回目)



ライン引き



田植え



土均し



補植



畦畔ビニール



水管理



草刈



記帳会



圃場に認証看板

遊佐町も5月初旬ごろより田植えが始まります。昨年は田植え時期の低温により植え痛み・生育停滞がありました。今年度は比較的良い条件のもと田植え行え、初期成育も順調です。代掻き(1回目)で田に水を入れ荒く均し、田面の高低差がある場合は土引きをして均一にします。仕上げに代掻き(2回目)を丁寧に田植えを行います。機械化が進んだとはいえ一列目植える際、目印にするラインは専用の道具でライン引きをし、旋回した際にできる土の盛り上がりの土均し・隅などの補植は手作業により行われます。水持ちの悪い田や隣が転作圃場などの場合、畦畔の内側に専用ビニールを張り保水力を維持します。

田植えが終わると水管理や草刈などの本田管理に移ります。遊佐町共同開発米部会では毎年5月下旬に特別栽培を確認・認証を得る記帳会を行い、部会員全員が記帳し特別栽培米の認証を得ます。確認を終え各生産者の圃場に認証看板を立てています。生産者名・品種・栽培面積等が記載してあります。稲が田面に活着する期間を終え、下旬ごろから茎が増える分けつ期に移行していきます。